



シングルレバー 混合栓

116-006

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
この取扱施工説明書は、別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。

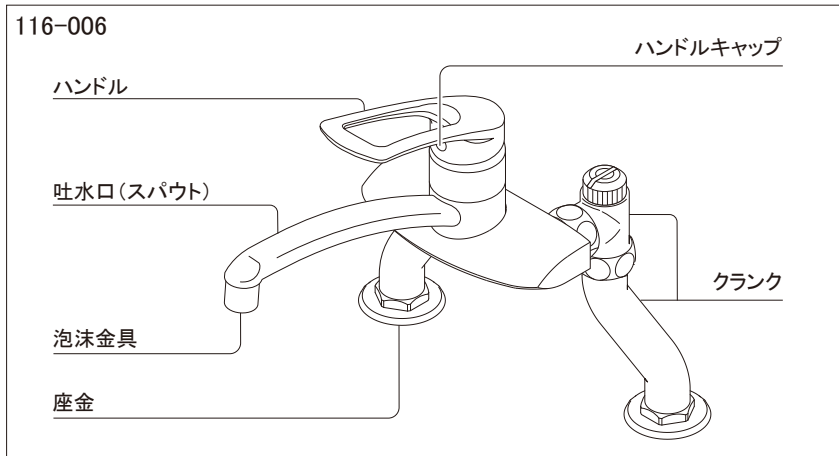
製品同梱明細

■施工される際は、この取扱施工説明書の製品同梱明細で各部品をご確認ください。

品番	取付穴径 (mm)	本体	付属品
116-006	φ22~27	○	○

* 上記部材に加えて、
●取扱施工説明書 ●安全上のご注意 ●保証書 ●六角レンチ(対辺2.5ミリ)を同梱しています。

各部のなまえ

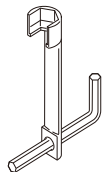
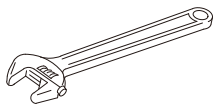


* 表記イラストは代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

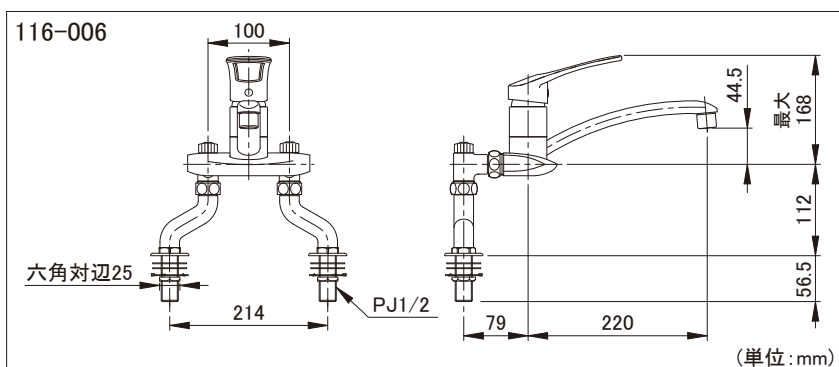
施工に必要な工具

●モンキーレンチ

●立カラン締め



寸法図

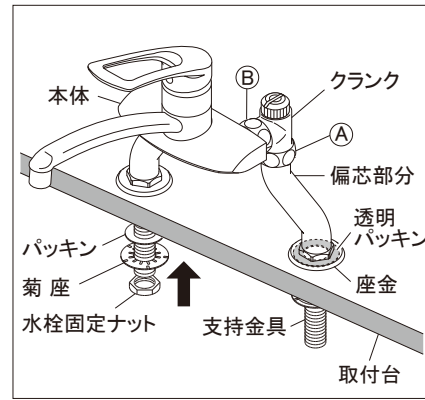


* 表記寸法図は代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

取付方法

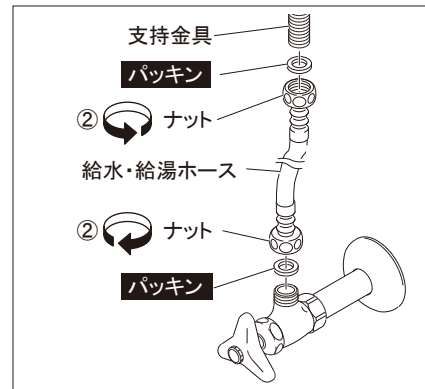
* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を開けて取付作業を行ってください。

1. 混合栓本体を取付けます。



- ① 本体にクランクを手締めで取付けて仮止めします。
 - ② 支持金具より水栓固定ナット・菊座・パッキンを取外します。
 - ③ 支持金具に座金・透明パッキンが付いていることを確認し、クランクの偏芯部分を取付穴の幅に調節しながら、取付台に差込みます。
 - ④ パッキン・菊座の順で支持金具に差込み、水栓固定ナットを「立カラン締め」などでしっかりと締付けます。
 - ⑤ クランクのナットを(A)、(B)の順に「レンチ」などでしっかりと締付けます。
- * クランクには湯用・水用の指定があります。ご注意ください。

2. 止水栓と接続します。



- ① パッキンを給水・給湯ホースのナットにはめ込みます。
 - ② 給水・給湯ホースのナットにパッキンが入っていることを確認してから、支持金具・止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。
- * パッキンの入れ忘れにご注意ください。

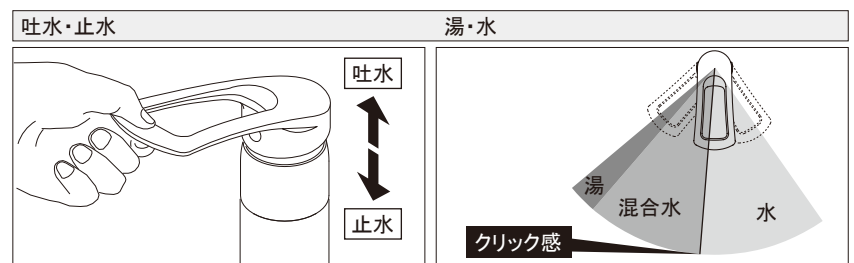
必ず実行 フレキパイプをご使用の場合、接続する配管は確実に固定してください。配管の固定が確実でないと、ウォーターハンマーなどの振動によりフレキパイプが破損する恐れがあります。

施工後の確認

- ① 止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。
漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
- ② ハンドルを中央位置で上げて左右にまわし、湯水の混合具合を確認してください。
低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。

使用方法

ハンドルの操作方法



ハンドルを上げると「吐水」、下げると「止水」、ハンドルを上げた状態で真ん中より左にまわすと「湯」、右にまわすと「水」が出ます。
* 水から湯に変わる時、クリック感があります。

- 湯を使用する際は、必ずハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へまわし、お好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
 - ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 注意** ハンドルを操作する際は、ハンドルと本体の間に指などははさまないようにご注意ください。

凍結防止方法

一般地用の凍結防止方法

凍結の恐れがある場合は、下記の予防を行ってください。

凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が0℃以下にならないようにしてください。なお、0℃以下になる場合は、以下のような方法で予防をしてください。

- 配管を保温する。
- 水栓から水を少量出しておく。
(目安として1分間に牛乳ビン1本分程度)
- *凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。



お手入れのしかた

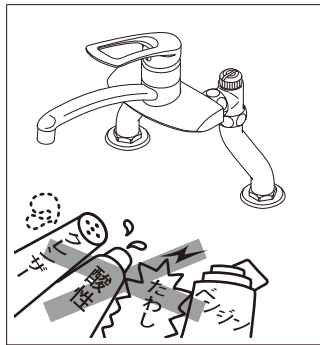
泡沫内芯のお掃除



最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯を外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

器具のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために。



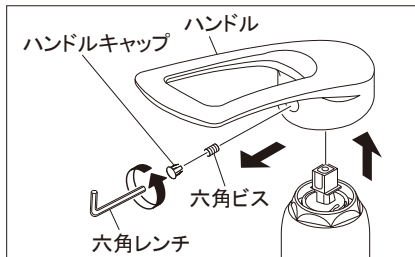
- 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。



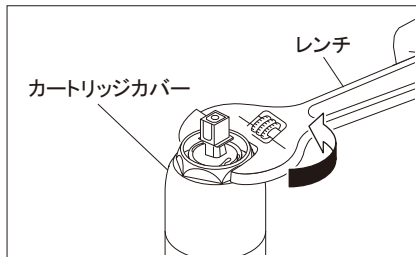
金属たわしやクレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

カートリッジの交換方法

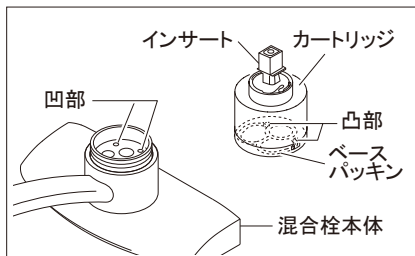
*作業前に、必ず止水栓または元栓を閉めて止水してください。



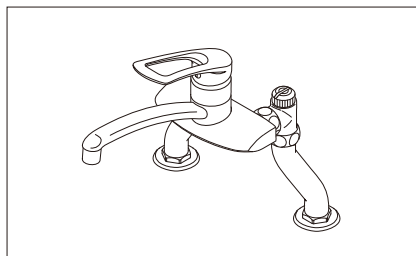
①ハンドルキャップを外します。付属の「六角レンチ」で六角ビスをゆるめ、ハンドルを上へ取外します。
*六角ビスはなくさないようにしてください。



②カートリッジカバーに「レンチ」などをかけ、左にまわして取外します。
*「レンチ」で取外し難い場合は、「六角ソケットレンチ(対辺33ミリ)」をご使用ください。



③古いカートリッジを抜き取り、新しいカートリッジの底にベースパッキンがついているのを確認してから、底の凸部が混合栓本体の凹部に合うように差込んでください。



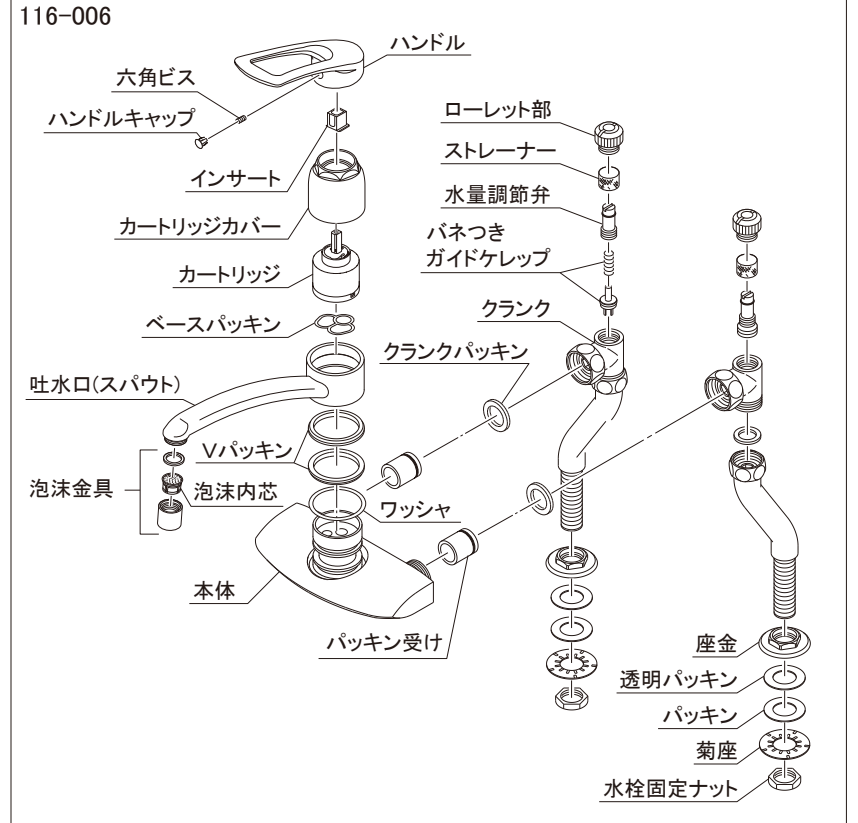
④①～②の逆の手順で組直してください。

*作業後は、必ず止水栓または元栓を開いて通水し、漏水がないことをご確認ください。

取付時の注意

- ハンドル内にインサートが残っている場合は、インサートを取外してください。
- カートリッジ底にベースパッキンがあることをご確認ください。
- カートリッジ底の凸部を混合栓本体の凹部に合わせてください。
- 締付ナットは適度な力で締付けてください。(締付け過ぎるハンドルが操作しづらくなります。)

分解図



*表記イラストは代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。
*製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

こんな時には…簡単な点検と対処

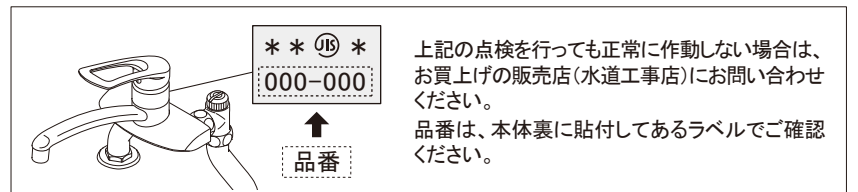
機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に「分解図」を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた	
温度調整不良	高温しか出ない	●水側の止水栓及び水量調節弁が閉まっている ●給水圧より給湯圧の方が高い	●水側の止水栓及び水量調節弁を調節する ●止水栓及び水量調節弁を調節する
	低温しか出ない	●湯側の止水栓及び水量調節弁が閉まっている ●給湯圧より給水圧の方が高い ●給湯機の能力(給湯機の異常)	●湯側の止水栓及び水量調節弁を調節する ●水側の止水栓及び水量調節弁を調節する ●別紙「安全上のご注意」の「使用条件」をご参照ください。
吐水不良	吐水量が少ない	●湯・水側の止水栓及び水量調節弁が閉まっている ●泡沫内芯の目詰まり	●適正水量になるまで止水栓及び水量調節弁を開く ●泡沫内芯を掃除する
	全く吐水しない	●本体に湯・水がきていない ●湯・水側の止水栓及び水量調節弁が閉まっている	●湯・水の元栓を開く ●適正水量になるまで止水栓及び水量調節弁を開く
止水不良	止水できない	●カートリッジの異常	●カートリッジを交換する
	ハンドル下より漏水 吐水口回転部付近から漏水	●締付ナットがゆるい ●カートリッジの異常 ●Vパッキンの摩耗または破傷	●締付ナットを締める ●カートリッジを交換する ●Vパッキンを交換する
操作しづらい	●ハンドルのガタつき	●付属の「六角レンチ」でハンドルの六角ビスを締直す	
ハンドルがかたい	●締付ナットの締めすぎ ●カートリッジの異常	●締付けナットを適度な力で締直す ●カートリッジを交換する	



分解禁止
本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

修理を依頼されるときは



上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。
品番は、本体裏に貼付してあるラベルでご確認ください。



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 大阪 ☎(06)6730-3391 札幌 ☎(011)704-1511

名古屋 ☎(052)504-1551 福岡 ☎(092)611-4611 仙台 ☎(022)239-8371

広島 ☎(082)278-2821

0520GF

M-A9975B

無断転載・複写を禁ず